

受付番号	2	受付月日	令和7年11月12日
		午前10時10分	

東郷町議会議長

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

公明党

議席番号

4番

氏名 高木佳子

一般質問通告書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3-1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 高齢者の感染予防とワクチン接種助成について	<p>高齢化が進む中で、感染症による重症化を防ぐことは、健康寿命を延ばし、医療費を抑えるうえでも重要な課題である。そのためには、感染症予防と予防効果の高いワクチン接種を進めるとともに、町民が安心して接種を受けられる体制づくりが必要だと考える。</p> <p>帯状疱疹ワクチンおよび高齢者のRSウイルスワクチンについて伺う。</p> <p>(1) 带状疱疹ワクチン接種助成の現状について 本町における帯状疱疹ワクチン接種助成制度（定期・任意接種）の利用実績と町民からの声について伺う。</p> <p>(2) RSウイルス感染症の予防について RSウイルス感染症予防について高齢者への情報提供や周知は行われているか。</p> <p>(3) 町として、高齢者のRSウイルスワクチン接種に関する情報提供や周知啓発についての考えを伺う。</p> <p>(4) 他自治体では、感染症重症化予防の観点から高齢者へのワクチン助成を実施する動きがあるが、接種費用助成制度を検討する考えはあるか伺う。</p>	町長 担当部長
2 5歳児健診の実施について	<p>現在、東郷町では乳幼児期における健康診査として、4か月児、1歳6か月児、3歳児の各健診が実施されている。</p> <p>一方で、就学前の5歳頃は、発達・言語・行動・対人関係などの特徴がより明確になる時期であり、小学校入学前に必要な支援を早期に見つける重要な時期もあると考えるが、3歳児健診から就学までの約3年間は行政による定期的な健診が</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>なく、発達や心の問題の見逃し・支援の遅れが心配される。</p> <p>本町としても、早期発見・早期支援の観点から、5歳児健診の導入を検討する必要があると考え、伺う。</p> <p>(1) 本町の現行の健診体制について ア 4ヶ月、1歳半、3歳児健診の実施状況と受診率の現状を伺う。 イ 健診後のフォローワー体制について、どのように実施しているか。</p> <p>(2) 3歳児健診後の支援の現状と課題について ア 3歳児健診以降、就学前までの間にについて、子ども達の健康等に関する相談や支援はどのようになされているか。</p> <p>(3) 5歳児健診の必要性と導入の検討について ア 5歳児健診を実施する自治体の事例や、国・県の動向をどのように把握しているか。 イ 就学前の発達確認や教育・福祉へのスムーズな引き継ぎを行うために、町として5歳児健診の導入を検討する考えはあるか。</p>	
3 楽しみながら介護予防・認知症予防	<p>高齢化の進展に伴い、介護予防や認知症予防の取組がより重要になっている。</p> <p>最近では、飲酒・喫煙・賭けを伴わない「健康マージャン」が、脳の活性化・仲間づくり・生きがいづくりの場として全国の自治体で広がっている。</p> <p>本町においても、高齢者の社会参加促進・孤立防止・介護予防・認知症予防の観点から、こうした取組の導入・支援についての考えを伺う。</p> <p>(1) 健康マージャンの意義と町の認識について ア 町として、この取組の効果や意義をどのように認識しているか伺う。 イ 町内で既に自主的な健康マージャングループがある場合、現状の把握をされているか。</p> <p>(2) 介護予防事業としての導入可能性について ア 介護予防教室の一環や地域包括支援センターの活動として健康マージャンを取り入れることを検討できないか。</p> <p>(3) 社会参加・孤立防止の観点からの支援について ア 健康マージャンを「通いの場」や「仲間づくりの場」として位置づけることにより、高</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>齢者の外出機会や交流が広がると考える。 町として、高齢者の社会参加を促す取組の 一つとして支援していく考えはあるか。</p> <p>イ 自主サークルや地域団体が健康マージャン を始める場合、町としてどのような支援が可 能か。</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。